

生物多様性 あいち学生プロジェクト 第2回ワークショップを開催しました！

2019年12月21日（土）に、大同大学にて「生物多様性 あいち学生プロジェクト」第2回目のワークショップを開催しましたので、様子をレポートいたします。

① 挨拶・オリエンテーション

NPO法人日本エコロジスト支援協会理事であり、会場提供頂いた大同大学の教授でもある大東憲二先生より、参加した学生35名に向け、生物多様性保全の分野で若者に期待する旨の挨拶がありました。



引き続いてのオリエンテーションでは、主催者である愛知県自然環境課の滝口主査より、COP10以降の流れを踏まえ、来年2020年に中国で開催されるCOP15及びポスト2020に向けて、本プロジェクトにより愛知の若者による生物多様性保全の取組を支援していきたい旨の説明がありました。

② 基調講演

先進的な保全活動を進める愛知製鋼（株）から参加頂いた総務部CSR推進室の名桐悟氏より、企業における生物多様性保全の取組や、若者との連携事例の紹介があり、参加学生に向けて「君たちならやれる！」との熱い応援メッセージを頂きました。

③ ワークショップの様子

前回に引き続き、ビオトープ・ネットワーク中部会長の長谷川明子先生の明るく楽しいファシリテートのもと、参加学生の皆さんによるグループワークを行いました。今回は、前回の第1回ワークショップで出た「保全活動」「情報発信」という切り口のうち、特に今後の保全活動の枠組みとなるべき情報発信方法について議論を行いました。

各グループとも様々なアイデアを出し合い、県内の生物多様性保全活動を繋ぐための情報発信方法について活発な議論がありました。ワークショップの最後には、各グループから議論の結果について発表があり、「WEBカレンダーによる保全活動予定の共有」、「生きものマップ」、「孟宗竹の駆除・活用の動画紹介」など、各グループともユニークなアイデアに富んだ発表がありました。

今回の議論で出た情報発信の枠組みを踏まえ、次回以降のワークショップで、具体的な生物多様性保全活動を検討していきたいと思えます。

